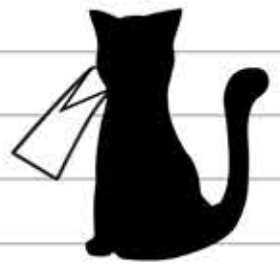


柏は、あなたの「ふるさと」ですか。



柏は、私の「ふるさと」です。

私は柏で生まれて育ちました。

この柏には、私のように柏で生まれ育ち、柏で暮らしている方がたくさんいます。私の倍以上の年月を柏で暮らしているお年寄りもたくさんいます。そのような方々にとっての「ふるさと」も、柏だと思ってくれたらいいなと思います。

別の土地で生まれ育ち、進学や就職のきっかけで柏で暮らしている方、あなたの「ふるさと」はどこでしょう。

逆に、柏を離れ別の土地で暮らしている方、柏はあなたにとって「ふるさと」でしょうか。

柏で生まれたこどもたち、おとなになったときに、この柏のことを自分の「ふるさと」として誇りに思ってくれるのでしょうか。

ところで「ふるさと」ってなんですか。

ヒトは生まれたばかりのときにはとても弱いもの。だから、誰かがお世話をしなければ生きていけません。それからずっと、たくさんのお世話を受けて、いまがあるはず。おとなになったあなたが、これまでにお世話になった人たちを思い出してください。家族、学校の先生、ともだち、近所・地域のみなさん。人だけではありません。大好きだった公園のブランコ、ザリガニをとった小川、学校帰りに寄り道した商店街、夏休みにみんなで行ったプール、たくさんの本に囲まれた図書館。それらのものが、あなたを育ててくれたのではないのでしょうか。誰もひとりでは生きられないし、おとなになれないのです。お世話になった人やものが、いまのあなたを育ててくれた。それが、「ふるさと」だと私は思うのです。

「ふるさと」は生まれたばかりのあなたを、おとなになるまで守り育ててくれるだけでなく、おとなになってからも悩んだり、困ったり、苦しいときに、教えを与え、手を差し伸べてくれるものです。「ふるさと」はいつでも、弱い立場の人にやさしいのです。

柏は、私の「ふるさと」です。

あなたが自信をもってそう言えるように、こどもたちが将来、自信をもってそう言えるように、柏をもっとやさしいまちにしませんか。

あなたのふるさとになりたい。

柏もきっとそう思っています。

